

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

	毎月決算型	年2回決算型
商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2014年7月31日から2019年10月25日までです。	
運用方針	アムンディ・英国債マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として英ポンド建の英国国債等（国債、地方債、政府保証債、政府機関債）、英国物価連動国債、国際機関債に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	アムンディ・英国債ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）	アムンディ・英国債マザーファンドの受益証券
	アムンディ・英国債マザーファンド	英ポンド建ての英国国債等（国債、地方債、政府保証債、政府機関債）、英国物価連動国債、国際機関債
組入制限	アムンディ・英国債ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）	原則として、株式への投資は行いません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。投資信託証券（マザーファンド受益証券および上場投資信託証券を除きます。）への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。
	アムンディ・英国債マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。
分配方針	毎月決算時（年12回、原則毎月25日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	毎月決算時（年2回、原則毎年4月および10月の各25日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

愛称：ユニオンジャック  
アムンディ・英国債ファンド  
(毎月決算型) / (年2回決算型)

運用報告書（全体版）

毎月決算型	第2作成期
	第4期(決算日 2014年11月25日)
	第5期(決算日 2014年12月25日)
	第6期(決算日 2015年1月26日)
	第7期(決算日 2015年2月25日)
	第8期(決算日 2015年3月25日)
	第9期(決算日 2015年4月27日)
年2回決算型	第2期(決算日 2015年4月27日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。ここに作成期中／期中の運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1丁目2番2号

お客様サポートライン 0120-202-900（フリーダイヤル）

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページアドレス：<http://www.amundi.co.jp>

# アムンディ・英国債ファンド（毎月決算型）

## ■設定以来の運用実績

	決 算 期	基準価額 (分配落)	税 込 金		参考指数	期 中 率		債 券 組入比率	純 資 産 総 額
			分 配	騰 落		騰 落	率		
第1 作成期	(設 定 日) 2014年7月31日	円 10,000	円 -	% -	10,000	% -	% -	百万円 5	
	1期 (2014年8月25日)	9,955	0	△0.5	10,033	0.3	97.4	4	
	2期 (2014年9月25日)	10,284	0	3.3	10,392	3.6	98.6	5	
	3期 (2014年10月27日)	10,052	0	△2.3	10,264	△1.2	98.5	5	
第2 作成期	4期 (2014年11月25日)	10,708	0	6.5	11,030	7.5	98.1	5	
	5期 (2014年12月25日)	10,798	0	0.8	11,201	1.5	97.9	5	
	6期 (2015年1月26日)	10,237	0	△5.2	10,746	△4.1	97.5	5	
	7期 (2015年2月25日)	10,559	50	3.6	11,064	3.0	87.4	1,505	
	8期 (2015年3月25日)	10,239	50	△2.6	10,836	△2.1	97.4	3,069	
	9期 (2015年4月27日)	10,310	50	1.2	10,932	0.9	96.7	3,413	

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額（10,000円）です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。以下同じ。

(注3) 当ファンドに対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークを設定しておりません。以下同じ。

(注4) 参考指数は、BofA・メリルリンチ英国1-10年国債インデックス（円換算ベース）です。BofA・メリルリンチの各インデックスは、メリルリンチ・ピアース・フェナー・アンド・スミス・インコーポレーテッドが発表しており、著作権はメリルリンチ・ピアース・フェナー・アンド・スミス・インコーポレーテッドに帰属しております。以下同じ。

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準価額		参考指数	騰落率		債券 組入比率
		円	%		%	%	
第4期	(期首) 2014年10月27日	10,052	—	10,264	—	98.5	
	10月末	10,120	0.7	10,339	0.7	98.0	
	(期末) 2014年11月25日	10,708	6.5	11,030	7.5	98.1	
第5期	(期首) 2014年11月25日	10,708	—	11,030	—	98.1	
	11月末	10,757	0.5	11,112	0.7	98.1	
	(期末) 2014年12月25日	10,798	0.8	11,201	1.5	97.9	
第6期	(期首) 2014年12月25日	10,798	—	11,201	—	97.9	
	12月末	10,818	0.2	11,236	0.3	97.9	
	(期末) 2015年1月26日	10,237	△5.2	10,746	△4.1	97.5	
第7期	(期首) 2015年1月26日	10,237	—	10,746	—	97.5	
	1月末	10,332	0.9	10,860	1.1	73.0	
	(期末) 2015年2月25日	10,609	3.6	11,064	3.0	87.4	
第8期	(期首) 2015年2月25日	10,559	—	11,064	—	87.4	
	2月末	10,580	0.2	11,087	0.2	78.5	
	(期末) 2015年3月25日	10,289	△2.6	10,836	△2.1	97.4	
第9期	(期首) 2015年3月25日	10,239	—	10,836	—	97.4	
	3月末	10,233	△0.1	10,812	△0.2	97.9	
	(期末) 2015年4月27日	10,360	1.2	10,932	0.9	96.7	

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は各期首比です。

# アムンディ・英国債ファンド（年2回決算型）

## ■設定以来の運用実績

決 算 期	基準価額 (分配落)	税 込 分 配 金			参 考 指 数	期 騰 落 中 率		債 券 組 入 比 率	純 資 産 額
		分	配	金		騰	落		
(設 定 日) 2014年7月31日	円 10,000			円 —			% —	% —	百万円 5
1 期 (2014年10月27日)	10,052			0	10,264		0.5	2.6	98.5
2 期 (2015年4月27日)	10,394			0	10,932		3.4	6.5	96.7

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額（10,000円）です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。以下同じ。

(注3) 当ファンドに対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークを設定しておりません。以下同じ。

(注4) 参考指数は、BofA・メリルリンチ英国1-10年国債インデックス（円換算ベース）です。BofA・メリルリンチの各インデックスは、メリルリンチ・ピアース・フェナー・アンド・スミス・インコーポレーテッドが発表しており、著作権はメリルリンチ・ピアース・フェナー・アンド・スミス・インコーポレーテッドに帰属しております。以下同じ。

## ■当期中の基準価額と市況等の推移

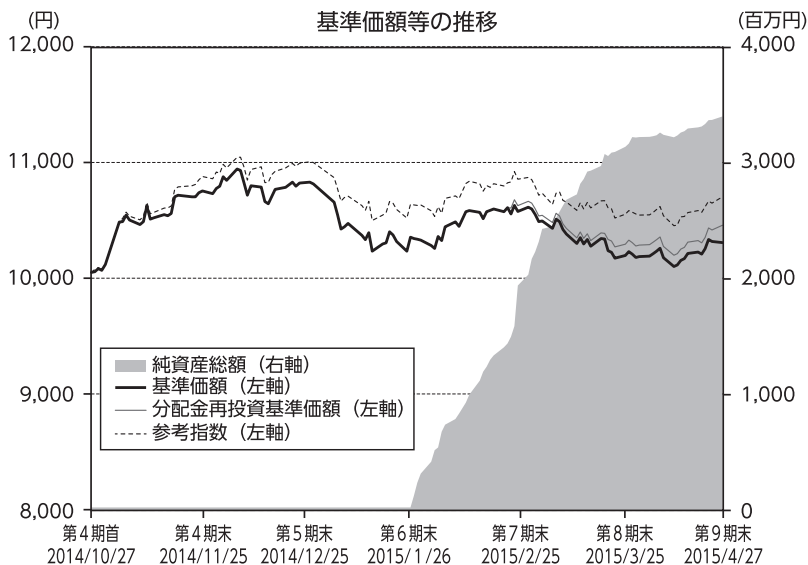
年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		参 考 指 数	騰 落 率		債 券 組 入 比 率
			%			%	
(期 首) 2014年10月27日	円 10,052		% —	10,264		% —	98.5
10月末	10,120		0.7	10,339		0.7	98.0
11月末	10,757		7.0	11,112		8.3	98.1
12月末	10,818		7.6	11,236		9.5	97.9
2015年1月末	10,268		2.1	10,860		5.8	73.0
2月末	10,561		5.1	11,087		8.0	78.5
3月末	10,265		2.1	10,812		5.3	98.1
(期 末) 2015年4月27日	円 10,394		3.4	10,932		6.5	96.7

(注) 騰落率は期首比です。

【基準価額等の推移】

■ 毎月決算型 ■

第4期首	10,052円
第9期末	10,310円
既払分配金	150円
騰落率	4.1%
	(分配金再投資ベース)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 参考指数は、BofA・メリルリンチ英国1-10年国債インデックス（円換算ベース）です。BofA・メリルリンチの各インデックスは、メリルリンチ・ピアース・フェナー・アンド・スミス・インコーポレーテッドが発表しており、著作権はメリルリンチ・ピアース・フェナー・アンド・スミス・インコーポレーテッドに帰属しております。以下同じ。
- (注4) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2014年10月27日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

【基準価額の主な変動要因】

上昇要因

- ①日銀による追加金融緩和と、英国の景気見通しが改善したことを背景に、当作成期を通じてみると英ポンドが円に対して上昇したこと
- ②英国債利回りが2015年1月末以降の上昇にもかかわらず当作成期全体では低下し、当ファンドのパフォーマンスにややプラス寄与したこと

下落要因

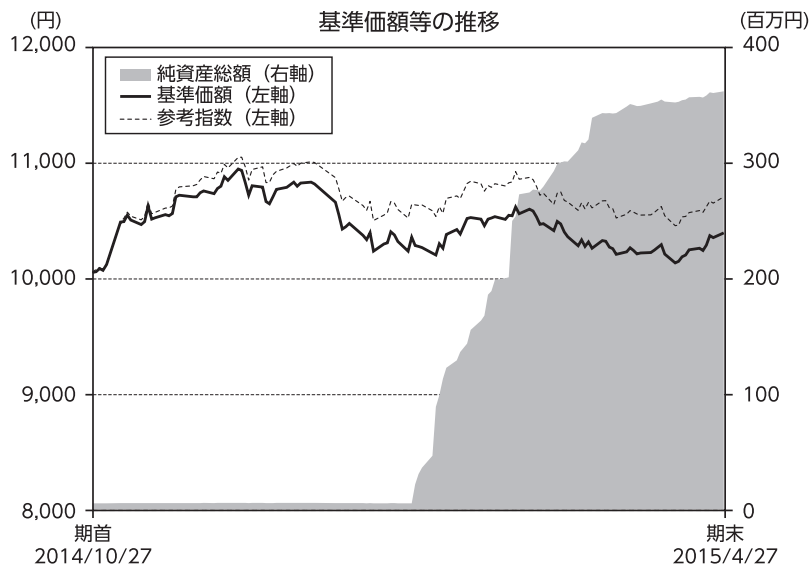
- ①2015年3月上旬から4月中旬にかけては、総選挙への懸念から英ポンドが円に対して下落したこと

# アムンディ・英国債ファンド（年2回決算型）

## 【基準価額等の推移】

### ■ 年2回決算型 ■

第2期首	10,052円
第2期末	10,394円
既払分配金	0円
騰落率	3.4%



(注1) 参考指数は、BofA・メリルリンチ英国1-10年国債インデックス（円換算ベース）です。BofA・メリルリンチの各インデックスは、メリルリンチ・ピアース・フェナー・アンド・スミス・インコーポレーテッドが発表しており、著作権はメリルリンチ・ピアース・フェナー・アンド・スミス・インコーポレーテッドに帰属しております。以下同じ。

(注2) 参考指数は、2014年10月27日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

## 【基準価額の主な変動要因】

### 上昇要因

- ①日銀による追加金融緩和と、英国の景気見通しが改善したことを背景に、当期を通じてみると英ポンドが円に対して上昇したこと
- ②英国債利回りが2015年1月末以降の上昇にもかかわらず当期全体では低下し、当ファンドのパフォーマンスにややプラス寄与したこと

### 下落要因

- ①2015年3月上旬から4月中旬にかけては、総選挙への懸念から英ポンドが円に対して下落したこと

**【投資環境】**

＜アムンディ・英国債ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）＞

投資環境については、アムンディ・英国債マザーファンドの運用報告書（後述）をご参照ください。

**【ポートフォリオ】**

＜アムンディ・英国債ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）＞

当ファンドは、英ポンド建の英国国債等（国債、地方債、政府保証債、政府機関債）、英国物価連動国債、国際機関債を主要投資対象とする「アムンディ・英国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行いました。当（作成）期中、マザーファンドの組入比率は高位を維持しました。

＜アムンディ・英国債マザーファンド＞

アムンディ・英国債マザーファンドの運用報告書（後述）をご参照ください。

**【分配金】**

＜アムンディ・英国債ファンド（毎月決算型）＞

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、分配を行いました（各期の分配金額および分配原資の内訳につきましては、後記の「分配金のお知らせ」をご覧ください）。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

＜アムンディ・英国債ファンド（年2回決算型）＞

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、見送りとさせていただきます（分配原資の内訳については後記の「分配金のお知らせ」をご覧ください）。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

**【今後の運用方針】**

＜アムンディ・英国債ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）＞

引き続き、英ポンド建の英国国債等（国債、地方債、政府保証債、政府機関債）、英国物価連動国債、国際機関債を主要投資対象とする「アムンディ・英国債マザーファンド」の受益証券への投資を通じて、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

＜アムンディ・英国債マザーファンド＞

アムンディ・英国債マザーファンドの運用報告書（後述）をご参照ください。

# アムンディ・英国債ファンド（毎月決算型）

## ■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第4期～第9期 (2014年10月28日 ～2015年4月27日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 )  ( 受 託 会 社 )	70円 (33) (34)  ( 3 )	0.673% (0.327) (0.320)  (0.027)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 ( 保 管 費 用 )  ( 監 査 費 用 ) ( 印 刷 ) ( そ の 他 * ) ( そ の 他 )	5 ( 4 )  ( 1 ) ( 0 ) ( 0 ) ( 0 )	0.048 (0.040)  (0.006) (0.000) (0.001) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・ 資産の移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 印刷会社に支払うファンドに係る費用 LEIの登録費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	75	0.721	

期中の平均基準価額は10,473円です。

(注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

\* 金融商品の取引の当事者を識別するための番号制度です。

## ■ 親投資信託受益証券の設定、解約状況（2014年10月28日から2015年4月27日まで）

決 算 期	第 4 期 ～ 第 9 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アムンディ・英国債マザーファンド	3,318,562	3,398,400	16	17

(注) 単位未満は切捨てです。



■利害関係人との取引状況等（2014年10月28日から2015年4月27日まで）

(1) 当作成期中の利害関係人との取引状況

<アムンディ・英国債マザーファンド>

区 分	第 4 期 ～ 第 9 期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公 社 債	3,657	—	—	0.923839	—	—
為替直物取引	3,739	44	1.2	0.070002	—	—

平均保有割合 89.5%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合です。

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	第 4 期 ～ 第 9 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	— 千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	— 千円
(B) / (A)	— %

(注1) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはクレディ・アグリコル銀行です。

(注2) 売買委託手数料総額は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

■自社による当ファンドの設定・解約状況（2014年10月28日から2015年4月27日まで）

作成期首残高 (元 本)	作成期中設定 元 本	作成期中解約 元 本	作成期末残高 (元 本)	取 引 の 理 由
百万円 5	百万円 —	百万円 —	百万円 5	当初設定時又は当初運用時における取得等

■組入資産の明細（2015年4月27日現在）

親投資信託残高

銘 柄	第1作成期末(第3期末)		第2作成期末(第9期末)	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千口	千円
アムンディ・英国債マザーファンド	4,980	3,323,526	3,402,626	

(注1) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) アムンディ・英国債マザーファンド全体の受益権口数は、当作成期末3,676,123千口です。

# アムンディ・英国債ファンド（毎月決算型）

## ■投資信託財産の構成

2015年4月27日現在

項 目	第 2 作 成 期 末 (第 9 期 末)	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アムンディ・英国債マザーファンド	3,402,626	99.1
コール・ローン等、その他	31,577	0.9
投 資 信 託 財 産 総 額	3,434,203	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨てです。

(注2) アムンディ・英国債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（3,716,524千円）の投資信託財産総額（3,763,575千円）に対する比率は98.7%です。

(注3) 外貨建資産は、当作成期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2015年4月27日現在における邦貨換算レートは、1英ポンド=180.58円です。

## ■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2014年11月25日) (2014年12月25日) (2015年1月26日) (2015年2月25日) (2015年3月25日) (2015年4月27日)現在

項 目	第 4 期 末	第 5 期 末	第 6 期 末	第 7 期 末	第 8 期 末	第 9 期 末
(A) 資 産	5,360,088円	5,405,704円	5,125,954円	1,513,295,648円	3,087,569,163円	3,434,203,236円
コール・ローン等	8,621	8,031	9,056	18,127,194	30,621,576	31,576,388
アムンディ・英国債マザーファンド(評価額)	5,351,467	5,397,673	5,116,898	1,495,168,450	3,056,947,579	3,402,626,840
未 収 利 息	—	—	—	4	8	8
(B) 負 債	5,972	6,752	7,426	8,020,728	17,595,081	20,569,237
未 払 収 益 分 配 金	—	—	—	7,127,914	14,991,438	16,554,258
未 払 信 託 報 酬	5,590	5,975	6,226	884,528	2,575,418	3,956,127
そ の 他 未 払 費 用	382	777	1,200	8,286	28,225	58,852
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	5,354,116	5,398,952	5,118,528	1,505,274,920	3,069,974,082	3,413,633,999
元 本	5,000,000	5,000,000	5,000,000	1,425,582,846	2,998,287,600	3,310,851,697
次 期 繰 越 損 益 金	354,116	398,952	118,528	79,692,074	71,686,482	102,782,302
(D) 受 益 権 総 口 数	5,000,000口	5,000,000口	5,000,000口	1,425,582,846口	2,998,287,600口	3,310,851,697口
1万口当たり基準価額 (C/D)	10,708円	10,798円	10,237円	10,559円	10,239円	10,310円

(注記事項)

作成期首元本額 5,000,000円  
 作成期中追加設定元本額 3,311,455,845円  
 作成期中一部解約元本額 5,604,148円

# アムンディ・英国債ファンド（毎月決算型）

## ■ 損益の状況

第4期	自2014年10月28日	至2014年11月25日	第7期	自2015年1月27日	至2015年2月25日
第5期	自2014年11月26日	至2014年12月25日	第8期	自2015年2月26日	至2015年3月25日
第6期	自2014年12月26日	至2015年1月26日	第9期	自2015年3月26日	至2015年4月27日

項 目	第 4 期	第 5 期	第 6 期	第 7 期	第 8 期	第 9 期
(A) 配 当 等 收 益	－円	－円	－円	29円	92円	130円
受 取 利 息	－	－	－	29	92	130
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	334,090	51,206	△273,775	24,251,552	△ 69,820,834	44,713,098
売 買 益	334,090	51,206	－	24,251,552	36	44,708,699
売 買 損	－	－	△273,775	－	△ 69,820,870	4,399
(C) 信 託 報 酬 等	△ 5,972	△ 6,370	△ 6,649	△ 891,614	△ 2,595,357	△ 3,986,754
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	328,118	44,836	△280,424	23,359,967	△ 72,416,099	40,726,474
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	25,998	354,116	398,952	118,528	16,350,570	△ 70,933,762
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	－	－	－	63,341,493	142,743,449	149,543,848
( 配 当 等 相 当 額 )	( ー )	( ー )	( ー )	( 117,291,655 )	( 268,661,391 )	( 300,729,312 )
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( ー )	( ー )	( ー )	( △ 53,950,162 )	( △125,917,942 )	( △151,185,464 )
(G) 計 (D+E+F)	354,116	398,952	118,528	86,819,988	86,677,920	119,336,560
(H) 收 益 分 配 金	0	0	0	△ 7,127,914	△ 14,991,438	△ 16,554,258
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	354,116	398,952	118,528	79,692,074	71,686,482	102,782,302
追 加 信 託 差 損 益 金	－	－	－	63,341,493	142,743,449	149,543,848
( 配 当 等 相 当 額 )	( ー )	( ー )	( ー )	( 119,161,743 )	( 271,690,385 )	( 301,516,830 )
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( ー )	( ー )	( ー )	( △ 55,820,250 )	( △128,946,936 )	( △151,972,982 )
分 配 準 備 積 立 金	354,116	398,952	412,809	16,350,581	6,757,443	2,433,864
繰 越 損 益 金	－	－	△294,281	－	△ 77,814,410	△ 49,195,410

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用  
当ファンドの投資対象である親投資信託の運用指図に係る権限を委託するために要する費用として、信託約款第36条に規定する計算期間を通じて毎日、投資信託財産の純資産総額に年10,000分の60以内の率を乗じて得た額を支払っております。

### 分配金の計算過程

第4期計算期間末における費用控除後の配当等収益（19,156円）、費用控除後の有価証券等損益額（178,611円）、および分配準備積立金（156,349円）より分配対象収益は354,116円（10,000口当たり708円）ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

第5期計算期間末における費用控除後の配当等収益（17,808円）、費用控除後の有価証券等損益額（27,028円）、および分配準備積立金（354,116円）より分配対象収益は398,952円（10,000口当たり797円）ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

第6期計算期間末における費用控除後の配当等収益（13,857円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、および分配準備積立金（398,952円）より分配対象収益は412,809円（10,000口当たり825円）ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

第7期計算期間末における費用控除後の配当等収益（2,297,965円）、費用控除後の有価証券等損益額（20,767,721円）、信託約款に規定する収益調整金（119,161,743円）および分配準備積立金（412,809円）より分配対象収益は142,640,238円（10,000口当たり1,000円）であり、うち7,127,914円（10,000口当たり50円）を分配金額としております。

第8期計算期間末における費用控除後の配当等収益（5,398,311円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（271,690,385円）および分配準備積立金（16,350,570円）より分配対象収益は293,439,266円（10,000口当たり978円）であり、うち14,991,438円（10,000口当たり50円）を分配金額としております。

第9期計算期間末における費用控除後の配当等収益（12,242,395円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（301,516,830円）および分配準備積立金（6,745,727円）より分配対象収益は320,504,952円（10,000口当たり968円）であり、うち16,554,258円（10,000口当たり50円）を分配金額としております。

# アムンディ・英国債ファンド（毎月決算型）

## ■分配金のお知らせ

決 算 期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期
1万口当たりの分配金（税込み）	0円	0円	0円	50円	50円	50円

### ◇分配金をお支払いする場合

分配金は各決算日から起算して5営業日目までにお支払いを開始しております。

### ◇分配金を再投資する場合

お手取り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

### 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

### 課税上の取扱いについて

- 分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- 普通分配金  
<平成26年1月1日以降>  
普通分配金並びに解約時または償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税および復興特別所得税15.315%、並びに地方税5%）の税率が適用されます。  
\*法人の受益者の場合、税率が異なります。  
\*少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合  
NISAをご利用の場合、毎年、年間100万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります。  
\*税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。
- 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## 【分配原資の内訳】

（単位：円・1万口当たり・税込み）

項 目	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期
	(2014年10月28日 ～2014年11月25日)	(2014年11月26日 ～2014年12月25日)	(2014年12月26日 ～2015年1月26日)	(2015年1月27日 ～2015年2月25日)	(2015年2月26日 ～2015年3月25日)	(2015年3月26日 ～2015年4月27日)
当期分配金 (対基準価額比率)	— (—%)	— (—%)	— (—%)	50 (0.471%)	50 (0.486%)	50 (0.483%)
当期の収益	—	—	—	49	18	36
当期の収益以外	—	—	—	0	32	13
翌期繰越分配対象額	708	797	825	950	928	918

(注1)「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

(注2)「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

## 《お知らせ》

- 平成26年12月1日付で、改正投資信託法の施行に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。
- 平成27年1月26日付で、「ファンドの休業日」の定義を明確にするため、投資信託約款の付表に所要の変更を行いました。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第 2 期 (2014年10月28日 ～2015年4月27日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
(a)信託報酬 (投信会社) (販売会社)	70円 (33) (34)	0.673% (0.326) (0.320)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	( 3 )	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b)その他費用 (保管費用)	6 ( 4 )	0.059 (0.042)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 1 )	(0.006)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	( 0 )	(0.002)	印刷会社に支払うファンドに係る費用
(その他*)	( 1 )	(0.010)	LEIの登録費用
(その他)	( 0 )	(0.000)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	76	0.732	

期中の平均基準価額は10,464円です。

(注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

\* 金融商品の取引の当事者を識別するための番号制度です。

■ 親投資信託受益証券の設定、解約状況（2014年10月28日から2015年4月27日まで）

決 算 期	当 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アムンディ・英国債マザーファンド	千口 347,625	千円 354,950	千口 9	千円 10

(注) 単位未満は切捨てです。

# アムンディ・英国債ファンド（年2回決算型）

## ■利害関係人との取引状況等（2014年10月28日から2015年4月27日まで）

### (1) 当期中の利害関係人との取引状況

<アムンディ・英国債マザーファンド>

区 分	当 期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公 社 債	百万円 3,658	百万円 —	% —	百万円 0.932233	百万円 —	% —
為替直物取引	3,739	44	1.2	0.070002	—	—

平均保有割合 10.5%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合です。

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

### (2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額(A)	—千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額(B)	—千円
(B) / (A)	—%

(注1) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはクレディ・アグリコル銀行です。

(注2) 売買委託手数料総額は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

## ■自社による当ファンドの設定・解約状況（2014年10月28日から2015年4月27日まで）

期首残高 (元 本)	当期設定 元 本	当期解約 元 本	期末残高 (元 本)	取 引 の 理 由
百万円 5	百万円 —	百万円 —	百万円 5	当初設定時又は当初運用時における取得等

## ■組入資産の明細（2015年4月27日現在）

親投資信託残高

銘 柄	期首（前期末）		当 期 末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
アムンディ・英国債マザーファンド	千口 4,980	千口 352,596	千口 360,988	千円

(注1) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) アムンディ・英国債マザーファンド全体の受益権口数は、当期末3,676,123千口です。

# アムンディ・英国債ファンド（年2回決算型）

## ■投資信託財産の構成

2015年4月27日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アムンディ・英国債マザーファンド	360,988	99.4
コール・ローン等、その他	2,002	0.6
投 資 信 託 財 産 総 額	362,990	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨てです。

(注2) アムンディ・英国債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（3,716,524千円）の投資信託財産総額（3,763,575千円）に対する比率は98.7%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2015年4月27日現在における邦貨換算レートは、1英ポンド=180.58円です。

## ■資産、負債、元本及び基準価額の状況

2015年4月27日現在

項 目	当 期 末
(A)資 産	362,990,182円
コール・ローン等	2,001,881
アムンディ・英国債マザーファンド(評価額)	360,988,301
(B)負 債	898,481
未払信託報酬	889,468
その他未払費用	9,013
(C)純資産総額(A-B)	362,091,701
元 本	348,382,586
次期繰越損益金	13,709,115
(D)受益権総口数	348,382,586口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,394円

(注記事項)

期首元本額	5,000,000円
期中追加設定元本額	343,858,823円
期中一部解約元本額	476,237円

## ■損益の状況

当期 自2014年10月28日 至2015年4月27日

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	2円
受 取 利 息	2
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	1,034,836
売 買 益	1,033,790
売 買 損	1,046
(C)信 託 報 酬 等	△ 898,481
(D)当 期 損 益 金(A+B+C)	136,357
(E)前 期 繰 越 損 益 金	25,963
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	13,546,795
(配 当 等 相 当 額)	( 2,526,578)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 11,020,217)
(G) 計 (D+E+F)	13,709,115
(H)収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	13,709,115
追 加 信 託 差 損 益 金	13,546,795
(配 当 等 相 当 額)	( 3,092,506)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 10,454,289)
分 配 準 備 積 立 金	1,937,661
繰 越 損 益 金	△1,775,341

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するため要する費用

当ファンドの投資対象である親投資信託の運用指図に係る権限を委託するために要する費用として、信託約款第36条に規定する計算期間を通じて毎日、投資信託財産の純資産総額に年10,000分の60以内の率を乗じて得た額を支払っております。

# アムンディ・英国債ファンド（年2回決算型）

## ■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、見送りとさせていただきます。

### 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

### 課税上の取扱いについて

<平成26年1月1日以降>

普通分配金並びに解約時または償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税および復興特別所得税15.315%、並びに地方税5%）の税率が適用されます。

\*法人の受益者の場合、税率が異なります。

\*少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合

NISAをご利用の場合、毎年、年間100万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります。

\*税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

## 【分配原資の内訳】

（単位：円・1万口当たり・税込み）

項目	第2期
	(2014年10月28日～2015年4月27日)
当期分配金	—
(対基準価額比率)	(—%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	393

(注1)「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

(注2)「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 《お知らせ》

- 平成26年12月1日付で、改正投資信託法の施行に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。
- 平成27年1月26日付で、「ファンドの休業日」の定義を明確にするため、投資信託約款の付表に所要の変更を行いました。



# アムンディ・英国債マザーファンド

## 運用報告書

《第2期》

決算日：2015年4月27日

(計算期間：2014年10月28日～2015年4月27日)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2014年7月31日から無期限です。
運用方針	主として英ポンド建の英国国債等（国債、地方債、政府保証債、政府機関債）、英国物価連動国債、国際機関債に投資することにより、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。運用にあたっては、アムンディに運用の指図に関する権限を委託します。
主要運用対象	英ポンド建債券
組入制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		債券組入比率	純資産額
	期騰	中落率	期騰	中落率		
(設定日) 2014年7月31日	円 10,000	% —	10,000	% —	% —	百万円 9
1期(2014年10月27日)	10,085	0.9	10,264	2.6	98.6	10
2期(2015年4月27日)	10,238	1.5	10,932	6.5	97.0	3,763

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額(10,000円)です。

(注2) 当ファンドに対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークを設定しておりません。以下同じ。

(注3) 参考指数は、BofA・メリルリンチ英国1-10年国債インデックス(円換算ベース)です。BofA・メリルリンチの各インデックスは、メリルリンチ・ピアース・フェナー・アンド・スミス・インコーポレーテッドが発表しており、著作権はメリルリンチ・ピアース・フェナー・アンド・スミス・インコーポレーテッドに帰属しております。以下同じ。

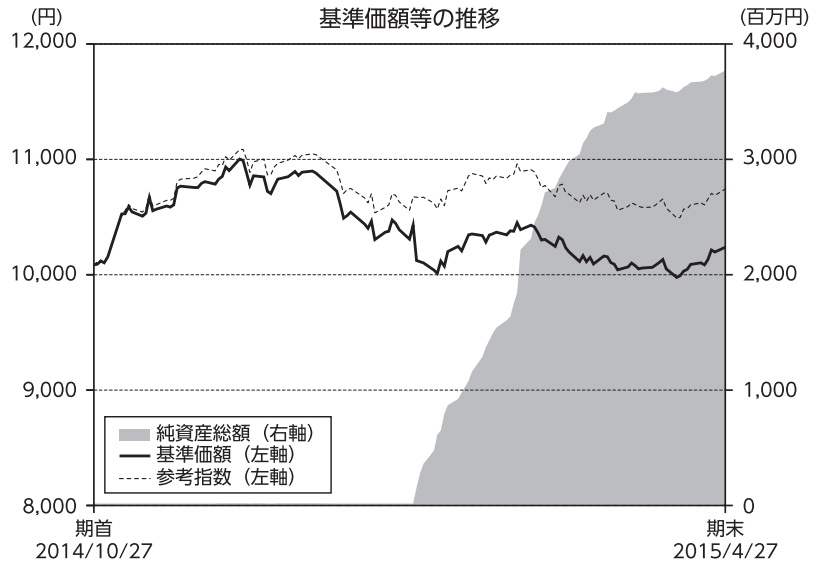
■当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		債券組入比率
	騰	落率	騰	落率	
(期首) 2014年10月27日	円 10,085	% —	10,264	% —	% 98.6
10月末	10,155	0.7	10,339	0.7	98.1
11月末	10,806	7.1	11,112	8.3	98.2
12月末	10,881	7.9	11,236	9.5	97.9
2015年1月末	10,103	0.2	10,860	5.8	73.3
2月末	10,390	3.0	11,087	8.0	78.9
3月末	10,101	0.2	10,812	5.3	98.2
(期末) 2015年4月27日	10,238	1.5	10,932	6.5	97.0

(注) 騰落率は期首比です。

【基準価額等の推移】

第2期首	10,085円
第2期末	10,238円
既払分配金	0円
騰落率	1.5%



(注1) 参考指数は、BofA・メリルリンチ英国1-10年国債インデックス(円換算ベース)です。  
 (注2) 参考指数は、2014年10月27日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

【基準価額の主な変動要因】

上昇要因

- ① 日銀による追加金融緩和と、英国の景気見通しが改善したことを背景に、当期を通じてみると英ポンドが円に対して上昇したこと
- ② 英国債利回りが2015年1月末以降の上昇にもかかわらず当期全体では低下し、当ファンドのパフォーマンスにややプラス寄与したこと

下落要因

- ① 2015年3月上旬から4月中旬にかけては、総選挙への懸念から英ポンドが円に対して下落したこと

【投資環境】

＜英国債券市場＞

期初から2015年1月にかけては、原油価格の下落によりインフレ率が大きく低下したこと、日銀やECB(欧州中央銀行)が追加金融緩和策を実施したことにより、英国債利回りは低下(債券価格は上昇)しました。期末にかけては、米国の早期利上げ観測が再度台頭したことや原油価格の安

定に伴いインフレ期待が上昇したことから利回りは上昇（債券価格は下落）しました。

### ＜為替市場＞

為替市場では、日銀が景気刺激のために追加金融緩和を行ったことと英国の堅調な景気見通しを背景に、英国ポンドが対円で上昇しました。2015年3月上旬から4月中旬にかけては総選挙やEU（欧州連合）離脱の是非を問う国民投票といった政治的不安を背景に英国ポンドが対円で下落する局面もありましたが、結局、英国ポンド／円レートは1ポンド180円台半ばで期末を迎え、期初の173円台後半から大きく上昇しました。

### 【ポートフォリオ】

当ファンドは、通常の英国国債に加えて物価連動国債にも投資しており、物価連動国債の組入比率を25%程度に維持しています。英国の力強い経済成長と労働市場を受けてインフレ率が上昇することで、最終的には物価連動国債が通常の国債をアウトパフォームすると考えています。しかし当期は、インフレ率は引き続き低下傾向をたどり、コモディティ価格の調整がインフレ期待を下押ししました。当ファンドは現在の低い利回り水準を踏まえ、短中期債に焦点を当てた運用を実行し、修正デュレーションは平均2.5年としました。組み入れた債券のクーポンが高いため、金利が上昇する局面では利払いで得た現金をより利回りの高い債券に再投資することが可能です。当ファンドへの流入資金および組入れ国債の償還金は、上記のような通常の国債と物価連動国債のリスク配分を反映するように投資しました。

以上のような運用の結果、期初10,085円であった当ファンドの基準価額は上昇し、10,238円で期末を迎えました。

### 【今後の運用方針】

最近の利回り上昇が経済成長率やインフレ期待の上昇によるものと思われる場合には、当ファンドはポートフォリオにおける物価連動国債の組入比率を引き上げる考えです。次に発表されるインフレ統計が極めて重要になるでしょう。英国王室のウィリアム王子とキャサリン妃に第2子が誕生したことから、その消費促進効果により英国の経済活動は目先改善する可能性があります。長期債は利回り曲線のスティーブ化局面で短期債よりも大きな打撃を受けるため、短期債の選好はディフェンシブな特徴も備えています。英国国債市場は引き続き米国国債市場に連動すると見込まれることから、FRB（米連邦準備理事会）の最初の利上げも重大な影響を及ぼすでしょう。全体として、現在の2.5年程度の修正デュレーションは適切であると考えられ、当ファンドはこの水準から大きく逸脱しない方針です。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第 2 期 (2014年10月28日 ～2015年4月27日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	4円 (4)	0.042% (0.040)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・ 資産の移転等に要する費用 L E I の登録費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
(そ の 他*)	(0)	(0.002)	
(そ の 他)	(0)	(0.000)	
合 計	4	0.042	

期中の平均基準価額は10,406円です。

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

\*金融商品の取引の当事者を識別するための番号制度です。

■期中の売買及び取引の状況 (2014年10月28日から2015年4月27日まで)  
公社債

			買 付 額	売 付 額
外国	イ ギ リ ス	国 債 証 券	千英ポンド 20,263	千英ポンド 5

(注1) 金額は受渡し代金です。経過利子分は含まれておりません。

(注2) 単位未満は切捨てです。

アムンディ・英国債マザーファンド

■主要な売買銘柄 (2014年10月28日から2015年4月27日まで)  
公社債

買		付	売		付
銘	柄	金額	銘	柄	金額
		千円			千円
UKTI 1.25	11/22/17(イギリス)	717,704	UKT 4.75	09/07/15(イギリス)	932
UKT 8	12/07/15(イギリス)	712,217			
UKT 8.75	08/25/17(イギリス)	683,180			
UKT 5	03/07/18(イギリス)	631,243			
UKT 4	09/07/16(イギリス)	327,814			
UKTI 1.875	11/22/22(イギリス)	258,062			
UKT 4.75	09/07/15(イギリス)	109,003			
UKT 8	06/07/21(イギリス)	95,448			
UKT 4.75	03/07/20(イギリス)	75,045			
UKTI 1.25	11/22/27(イギリス)	48,574			

(注1) 金額は受渡し代金です。経過利子分は含まれておりません。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) 金額は、外貨額を約定日の属する月の月末(決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

■利害関係人との取引状況等 (2014年10月28日から2015年4月27日まで)

(1) 利害関係人との取引状況

区 分	当 期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公 社 債	百万円 3,658	百万円 —	% —	百万円 0.932233	百万円 —	% —
為替直物取引	3,739	44	1.2	0.070002	—	—

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額(A)	—千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額(B)	—千円
(B) / (A)	—%

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはクレディ・アグリコル銀行です。

## ■組入資産の明細 (2015年4月27日現在)

## 公社債

## (A) 公社債種類別開示

## 外国 (外貨建) 公社債

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
イギリス	千英ポンド 16,942	千英ポンド 20,225	千円 3,652,325	% 97.0	% —	% 10.8	% 55.9	% 30.3
合 計	16,942	20,225	3,652,325	97.0	—	10.8	55.9	30.3

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 単位未満は切捨てです。

(注4) —印は組入れなしです。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

## (B) 公社債銘柄別開示

## 外国 (外貨建) 公社債

種 類	銘 柄	当 期 末				
		利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
国債証券	(イギリス)	%	千英ポンド	千英ポンド	千円	
	UKT 4 09/07/16	4.0	1,722	1,805	325,987	2016/9/7
	UKT 4.75 03/07/20	4.75	354	415	74,964	2020/3/7
	UKT 4.75 09/07/15	4.75	593	603	108,901	2015/9/7
	UKT 5 03/07/18	5.0	3,112	3,489	630,186	2018/3/7
	UKT 8 06/07/21	8.0	377	524	94,783	2021/6/7
	UKT 8 12/07/15	8.0	3,734	3,909	705,952	2015/12/7
	UKT 8.75 08/25/17	8.75	3,153	3,760	679,151	2017/8/25
	UKTI 1.25 11/22/17	1.25	2,800	3,993	721,107	2017/11/22
	UKTI 1.25 11/22/27	1.25	159	275	49,749	2027/11/22
	UKTI 1.875 11/22/22	1.875	932	1,448	261,540	2022/11/22
合 計				3,652,325		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨てです。

■投資信託財産の構成

2015年4月27日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	3,652,326	97.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	111,249	3.0
投 資 信 託 財 産 総 額	3,763,575	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (3,716,524千円) の投資信託財産総額 (3,763,575千円) に対する比率は98.7%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2015年4月27日現在における邦貨換算レートは、1英ポンド=180.58円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

2015年4月27日現在

項 目	当 期 末
(A)資 産	3,797,573,850円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	67,643,372
公 社 債(評価額)	3,652,326,129
未 収 入 金	33,998,682
未 収 利 息	24,410,564
前 払 費 用	19,195,103
(B)負 債	34,000,000
未 払 金	34,000,000
(C)純 資 産 総 額(A-B)	3,763,573,850
元 本	3,676,123,405
次 期 繰 越 損 益 金	87,450,445
(D)受 益 権 総 口 数	3,676,123,405口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,238円

(注記事項)

期首元本額	9,960,094円
期中追加設定元本額	3,666,188,707円
期中一部解約元本額	25,396円

(当期末元本の内訳)

アムンディ・英国債ファンド(毎月決算型)	3,323,526,900円
アムンディ・英国債ファンド(年2回決算型)	352,596,505円

■損益の状況

当期 自2014年10月28日 至2015年4月27日

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	26,776,416円
受 取 利 息	26,776,416
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△26,130,773
売 買 損 益	5,826,870
売 買 損	△31,957,643
(C)そ の 他 費 用 等	△ 439,442
(D)当 期 損 益 金(A+B+C)	206,201
(E)前 期 繰 越 損 益 金	84,555
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	87,161,293
(G)解 約 差 損 益 金	△ 1,604
(H) 計 (D+E+F+G)	87,450,445
次 期 繰 越 損 益 金(H)	87,450,445

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

《お知らせ》

●平成26年12月1日付で、改正投資信託法の施行に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。